

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	放課後ルーム事業			事業番号	038-084
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	放課後子ども支援
					課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援		
		有・無	指標名	放課後児童対策等事業にかかる待機児童数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標値	2人(2020年度)	目標値	0人(2025年度)
		寄与するKPI	有	現状値			
		有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
		有・無	取組	—			
		有・無	指標名	—			
		有・無	現状値	—	目標値	—	

#### 事業の概要

2	関連計画	■堺市子ども・子育て支援事業計画、堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 17 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■堺市放課後ルーム事業実施要綱		
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■開設小学校区に在住している4年生から6年生の児童257名（令和3年5月1日現在）		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■放課後ルーム事業は4年生から6年生の高学年児童を対象に、放課後等に学校の図書室、多目的室等を活用し、学習アドバイザーや指導員とともに宿題などの自主学習を継続的に行うことで児童の学習の習慣づけを図る。また、様々な体験プログラムの実施により、児童の意欲や関心の向上をめざしている。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	■実施校数：7校（令和2年4月時点） ■開設時間：月曜日～金曜日 放課後から午後6時まで。土曜日・長期休業期間午前9時～午後6時まで。夏季休業中は午前8時30分～午後6時（利用時間延長制度利用者のみ、午後7時まで延長） ■負担金4,000円（8月のみ6,000円）、減免制度なし		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■(株)トライグループ、新湊小学校放課後ルーム運営委員会		
10	公民連携・協働事業	—		

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	
		実績値	0	0			
		達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由		放課後児童対策等事業における待機児童数を発生させないことを目標とし、子育て支援の充実を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		待機児童を発生させないことを目標として、活動場所の確保等を行っている。					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 保護者アンケートの利用評価における「満足」「おおむね満足」の割合	%		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	—	100	100		
	実績値	—	98				
	達成率	—	98%				
当該指標を選定した理由		利用する保護者にとって放課後児童対策等事業の満足度を調査し、事業評価を行うため。					
目標値の設定根拠・算出方法		毎年度、放課後児童対策等事業の利用保護者向けに実施しているアンケートの利用満足度である。					

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	放課後ルーム事業	事業番号	038-084
-------	----------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	119,380	122,137	135,156	103,318	117,995
13 財源内訳					
国支出金	16,787	15,270	21,873	16,038	19,751
府支出金	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0
その他 ( )	0	0	0		
受益者負担金(使用料、手数料等)	27,025	21,787	24,164	11,918	18,514
一般財源	75,568	85,080	89,119	75,362	79,730
14 人件費 (b)	7,690	7,900	7,640	7,640	7,640
15 年間経費(c)=(a)+(b)	127,070	130,037	142,796	110,958	125,635

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R2	決算	101,742	74,844			R2	決算	73	73	
16 事業費内訳	放課後ルーム事業運営業務		R3	予算	116,838	78,660	手数料 (枠)	R3	予算	218	218
			R2	決算	672	0		委託業者選定委員会外部委員出務報酬	R2	決算	61
	消耗品費 (枠)【コロナ対応】		R3	予算	87	0	R3		予算	123	123
			R2	決算	386	0	消耗品費 (枠)	R2	決算	49	49
	放課後ルーム事業管理運営業務【コロナ対応】		R3	予算	0	0		R3	予算	124	124
			小学校冷暖房機及び空調設備保守点検業務		R2	決算	179	179	印刷製本費 (枠)	R2	決算
R3	予算	0			0	R3	予算	11		11	
通信運搬費 (枠)		R2	決算	150	150	物品等修繕料 (枠)	R2	決算	0	0	
		R3	予算	350	350		R3	予算	244	244	

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 利用児童数	人	493	447
② 上記①にかかる年間経費	千円	130,037	110,958
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	263,767	248,228
備考 (算出についての説明等)	—		

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ R2年度における委託費の大部分は指導員の人件費として運用した。</li> <li>■ 施設等については学校の協力のもと主に図書室を放課後の時間に借用し、事業の実施を行うことで施設使用料等の費用を抑えることができています。</li> <li>■ 今後、国の動向等を踏まえながら、類似事業との整理・統合を進め、適切な事業形態への移行を推進する。</li> </ul>
----	--

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 待機児童数0人の実現について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室のほか学校協力のもと共用教室の確保に努め、学校施設の有効活用を行うことで、希望者のすべてが利用可能となった。</li> </ul> </li> <li>■ 利用評価について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は全事業の全利用者を対象としたアンケートの実施により、広く利用者の意見等を得ることで、運営事業者に対し各ルームの状況に応じた助言・指導を行うことができた。</li> </ul> </li> </ul>
----	---